



大浦の空

本年度テーマ「絆づくりと確かな学力」

長崎市長立大浦中学校
令和年度学校便り NO. 6
令和3年7月20日発行
文責：校長 竹市保男

キャッチフレーズ：「絆づくりは、明るく元気で大きなワンストップ挨拶から」

本日は終業式！！ 1学期が終わります。 校長より

本日で1学期が終了し、明日から夏休みに入ります。1学期を振り返ってどうだったかな？皆さんは、このコロナ禍（長崎市は長崎県独自の非常事態宣言が発令されました。）になっても、生徒全員、先生方全員が、コロナに感染しませんでした。それぞれが、日頃からコロナ感染予防に気を配り、決められたことを守り頑張った成果だったと思います。ありがとう。

また、7月7日には生徒総会がありました。生徒会役員をはじめ議長さん……、準備から当日の総会運営までよく頑張りました。お疲れ様。生徒総会では、発言している人や発言を聞いている人たちも真剣に参加していました。大浦中をより良い学校にしたいという思いが表れたGoodな生徒総会になりました。ありがとう。

新型コロナ感染の影響を受け、昨年度から2度の延期をし、やっと3年生の修学旅行が7月29日（木）・30日（金）に実施できそうです。一泊二日にはなっただけけれどもハウステンボスを中心に楽しい修学旅行にしてほしいと思います。

さらに、女子バドミントン部が7月25日（日）・26日（月）に、大村市で実施される県中総体に出場します。7名の選手の皆さん…、大浦中の代表として長崎市の代表として悔いのない試合をしてきてください。がんばれ！！

最後に、夏休みをどう過ごすか？？これはとても大切なことです。夏休みは約40日間あります。まずは、大げや病気に罹らないこと。特にコロナ感染予防には、引き続き気を付けて生活をしていきましょう。夏休みは、危険が一杯。くれぐれも、SNSや出会い系サイト、インターネットによる被害等の事件やトラブルに巻き込まれないようにしましょう！！

3年生にとっての夏休みは受験の前哨戦といえます。基礎学力を身に着けるための「家庭学習」を計画に実施し、進路実現のために、充実した夏休みを過ごしましょう！！

生徒総会の様子です。みんな真剣に参加していました！

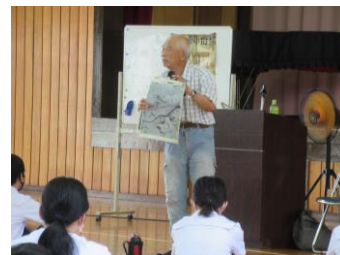
7月7日(水)



被爆体験講話

末永浩先生

7月8日(木)



末永浩（すえながひろし）先生の被爆体験講話です。現在85歳になられたそうですが、とてもお元気で、そして原爆の悲惨さについてジェスチャーを交えて熱弁していただきました。末永先生ありがとうございました。そして、いつまでもお元気でいてください！！

女子バドミントン部のみなさん…長崎県中総体(7月25日・26日開催)出場おめでとう！！



大浦中学校同窓会平山会長から、県中総体に参加する女子バドミントン部へ、激励の横断幕をいただきました。平山会長さま、大浦中学校同窓会のみなさま、ありがとうございました。

社会を明るくする運動表彰式 7月14日(水)



長崎地区保護司会から3名(左から原孝幸副会長、才木典子さん、小崎修三さん)が来校され、標語10年連続表彰をしていただきました。

【才木さんからのコメント】

保護司会で毎年行っている「社会を明るくする運動の一つである標語に10年連続応募してくれてありがとうございました。「社会を明るくする運動」というのは、私たちみんなが犯罪や非行の防止と立ち直りについて考え、それぞれの立場で力を合わせて犯罪や非行のない地域社会を築いていこうという全国的な運動です。立ち直ろうと決意した人を社会で受け入れていくことや犯罪や非行をする人を生み出さない家庭や地域づくりをすることも大切なことです。そんなことを一人ひとりが考え、参加するきっかけをつくるのがこの運動なんです。生徒のみなさん、これからも作文や標語への参加をよろしくお願いいたします。

**7月15日(木) メディア講話 講師:杉野伸治 氏
ぜひ親子で聞いていただきたい講話です！！次回、チャンスがあれば参加ください。**



日本バレーボール男子ジュニア(U20)のメディカルトレーナーなど経験され、現在は長崎県諫早市で心と身体のコンディショニング施設「THANKS」にて子供から高齢者までの健康維持サポートの傍ら、学校などの教育機関からの講演に積極的に活動中である 杉野伸治 先生を講師としてお迎えし、「目標達成のための生活習慣」というテーマで、本校生徒や保護者、地域の方々を対象に講演会を実施しました。「自分の心を自分で制することができる子どもたちを育てましょう。そして、自分で自分の心を制する力が無い子どもには、スマホを渡してはいけません。教育のチャンスは、中学校が最終ですよ。この機を逃すと子どもは親の考えや意見を聞かなくなってしまうよ」という言葉はまさにその通り。また、ゲーム・スマホを使用することで、①「姿勢が悪くなる」、②「勉強・学力が伸びない」(1時間未満ならOKだそうです)③「イライラする」(依存)、④「コミュニケーション能力がなくなる」(語彙力の低下)、⑤本番(ストレス)に弱くなる、⑥「わくわく感がなくなる。」、⑦「睡眠不足をおこす」等の様々な問題が表われ、さらにはスマホ依存症になってしまう。そうならないためには、①「呼吸トレーニングをする(息=自分の心)」、②「お手伝いをする」、③「ゲーム等の利用制限をする」、④「入浴でリラックスする」等を実践しながら、生活習慣を改善していくことが大切なんだそうです。今回一部を紹介しましたが、保護者のみなさんや生徒のみなさんには、真剣に考えてほしいものです。生徒にとって、そもそもスマホは本当に必要なものなのでしょうか?という視点から…、さらに、スマホにどう付き合っていくかを本気で考える時期に来ていると思います。

